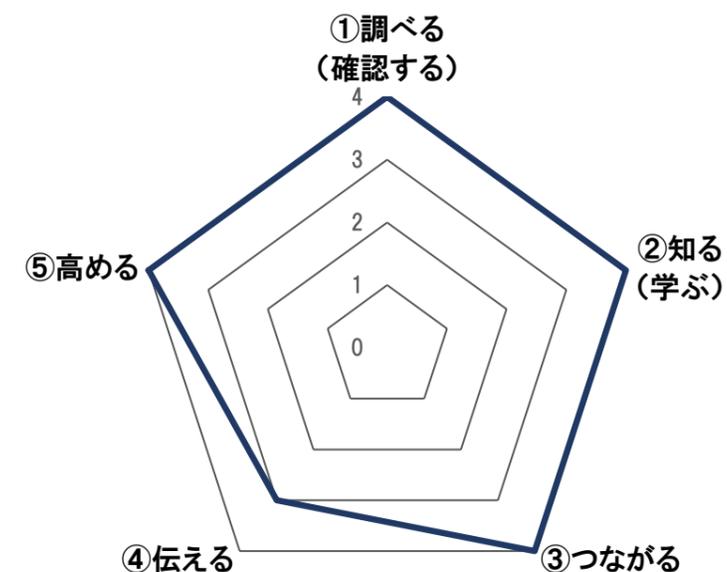


# 青葉小学校区

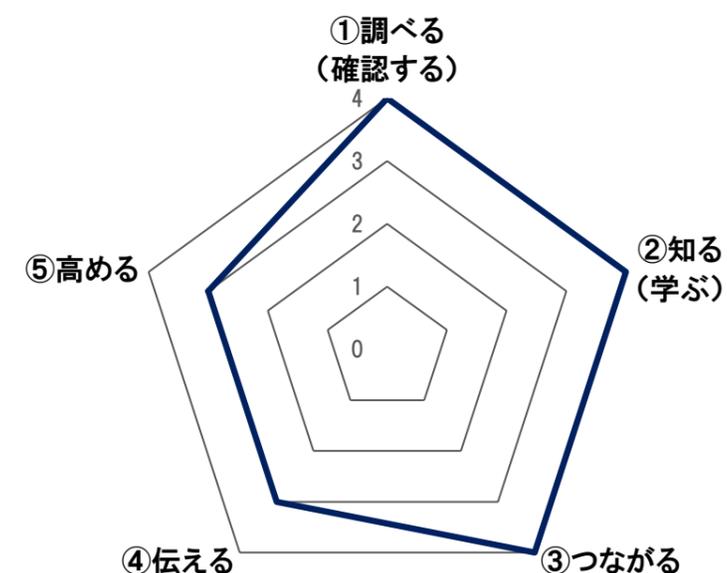
## 校区活動(校区きずな推進委員会の運営、住民座談会の開催)

評価指標	内容	点数	2020年度に向けて
①調べる (確認する)	各町内会ごとの推進状況や取り組み等を把握しながら地域間の情報を実践活動に活かしている。 現在、小地域ネットワーク活動は、1町内会の増で10町内会町が実施状況にある。*実施率は、90.9%(10/11町内会) 校区推進委員会の会議を1回開催(コロナ禍で1回中止)、更に、地区連役員会等で活動を報告している。	4	引き続き実施したい。特に、小地域ネットワーク活動は、1町内会を残すのみ。
②知る (学ぶ)	令和元年度のきずな計画4年目の重点項目を第1回校区推進委員会で確認し、更に第2回青葉地区連役員会で承認を得ながら取組の周知を図った。	4	引き続き実施したい。
③つながる	本校区推進委員会は、地区連福祉部を兼ねた組織体制で行っている為、校区内の各町内会の福祉部とつながっている。また、地区連役員会においてもきずな計画の推進状況を報告し、各町内会長に理解と協力を求めた。 更に、3年目を迎えた「あいサポート運動」の市主催研修会に参加し、「障がい者(視覚障害者 車椅子)」に対して気軽にサポートできる意識付けの活動も行った。	4	引き続き実施したい。
④伝える	校区推進委員会や青葉地区連役員会を通してきずな計画(全市・校区)について進捗状況を報告し、校区内の町内会役員等にきずな計画を伝えることができたと考えが 一般の地域の方々への普及・理解等をもっと図る反省点がある。	3	引き続き実施したい。 組織的な役員と地域の一人ひとりの関わりや活動等の展開を考える必要がある。
⑤高める	第3期計画も4年目となり、校区計画もかなり浸透してきたと考えるが、更に推進委員会や地区連役員会等を通じて情報共有することで、日々の福祉活動に対する意識を高めることにつながるため、会議の担う役割は大きい。	4	引き続き実施したい。



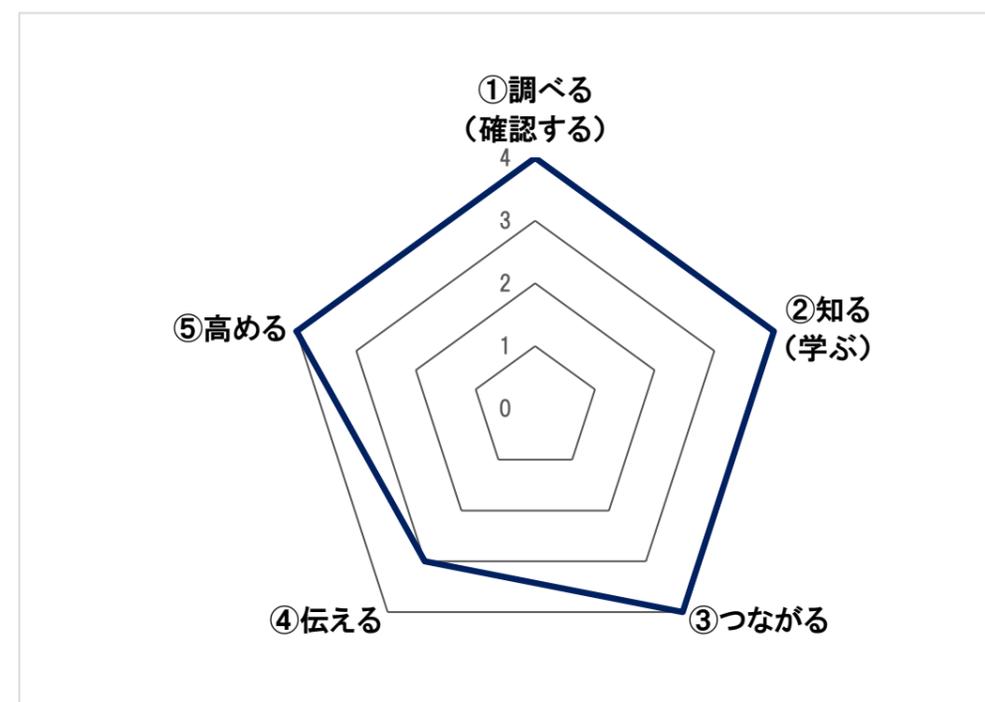
## 日頃からの見守り・訪問・声かけの推進(小地域ネットワーク活動の充実)

評価指標	内容	点数	2020年度に向けて
①調べる (確認する)	現在、11町内会中10町内会が実施。(1町内会増) 実施率は、校区内で90.9%である。	4	小地域ネットワーク活動の実施町内会100%を目指す取り組みを図る。更に、地区連の令和2年度の事業計画に盛り込む。 新たに、行政が行っている「高齢者などに対する緊急通報機器の貸与事業」の貸与実態や活用状況を把握し、高齢者(特に独居者)の見守りに生かせるか検討する。
②知る (学ぶ)	校区推進委員会や地区連役員研修会等で小地域についての説明する場を設けた。また、「きずなシンポジウム」や「小地域ネットワーク研修会」等の社協開催の事業への参加による情報や体験談を聞き他の校区の実態を知ることが出来た。	4	引き続き実施したい。
③つながる	本校区は、地区連福祉部が校区推進委員会と兼ねた組織運営をしており、現状把握や連携が図りやすい。中には、民生委員・児童委員も兼ねている委員もいる。 その他の諸団体とのつながりも重視しながらできるだけ共有してきた。	4	引き続き実施したい。 従来からの諸団体とは継続的に関わり、高齢者や介護施設等との関わり方を具体的に検討する必要があると考える。
④伝える	小地域ネットワーク活動でも特に「安心キット」の普及までは取り組まれているが、そこからの展開がまだまだのようだ。特に、世帯数の大きい町内会では、十分把握できていない。	3	引き続き実施したい。
⑤高める	小地域ネットワーク活動を推進する上で、「いきいきサロン」「ふれあい会食会」等で説明しながら、小地域ネットワーク活動への理解を深める取組を図った。	3	小地域ネットワーク活動の100%導入を促す取組を図る。 地域ごとで連携の取れた継続的な活動を行なう必要がある。



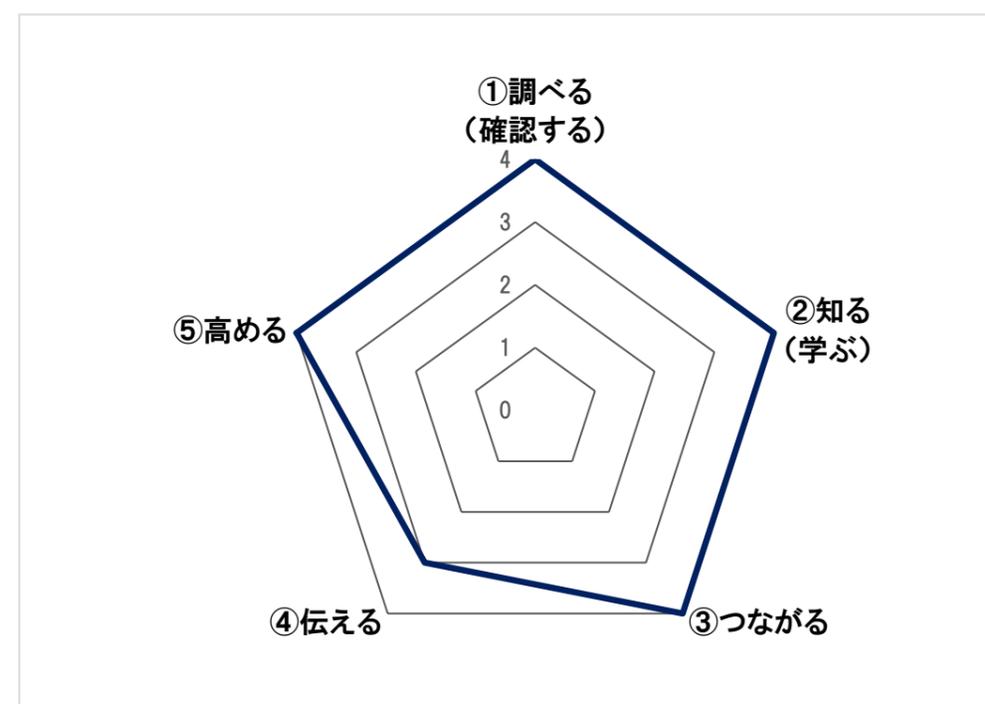
## 居場所・相談・つながりづくりの推進(ふれあい・いきいきサロン、ふれあい会食会の推進)

評価指標	内容	点数	2020年度に向けて
①調べる (確認する)	既存のサロン活動は定期的に行われている。 実施状況: サロン活動 7団体(1未登録)、ふれあい会食会 8町内(1未登録)	4	現在、新型コロナウイルス感染症が拡大する中、対策的には、多数の参加での集まりは、自粛や開催方法の対策を講じながらの活動が制約を受ける状況にあり、活動そのものが危惧される。 そのようなコロナ禍の中で活動ができる環境を探る。
②知る (学ぶ)	サロン活動や会食会等を通して、高齢者等との関わりができた。 サロンサポーター連絡会に参加し、知識の醸成と情報交換の中、サロンの活性化に活かされた。	4	引き続き実施を推進する。
③つながる	サロンサポーター連絡会(3回/年)等に参加し、他地区で行われている状況を把握しつつ、情報交換を通して市内のサロンサポーターや関係機関と繋がることができた。	4	次年度も様々な情報を得られるよう連絡会等に参加したい。
④伝える	サロン活動や会食会等で「きずな」について話をする機会を設けている。その受け止めは定量的には把握できないが、参加者には浸透してきているものとする。 サロンや会食会等を広報に掲載し活動状況を周知している地域もあり参考になる。	3	更に浸透を図る活動を引き続き推進する。
⑤高める	サロンについては、地域の居場所として機能している。また、会食会を開催することで地域で見守りが必要な人を把握することができた。 活動の内容に工夫を凝らしながら参加者への意識を高めるようにしている。	4	引き続き実施を推進する。



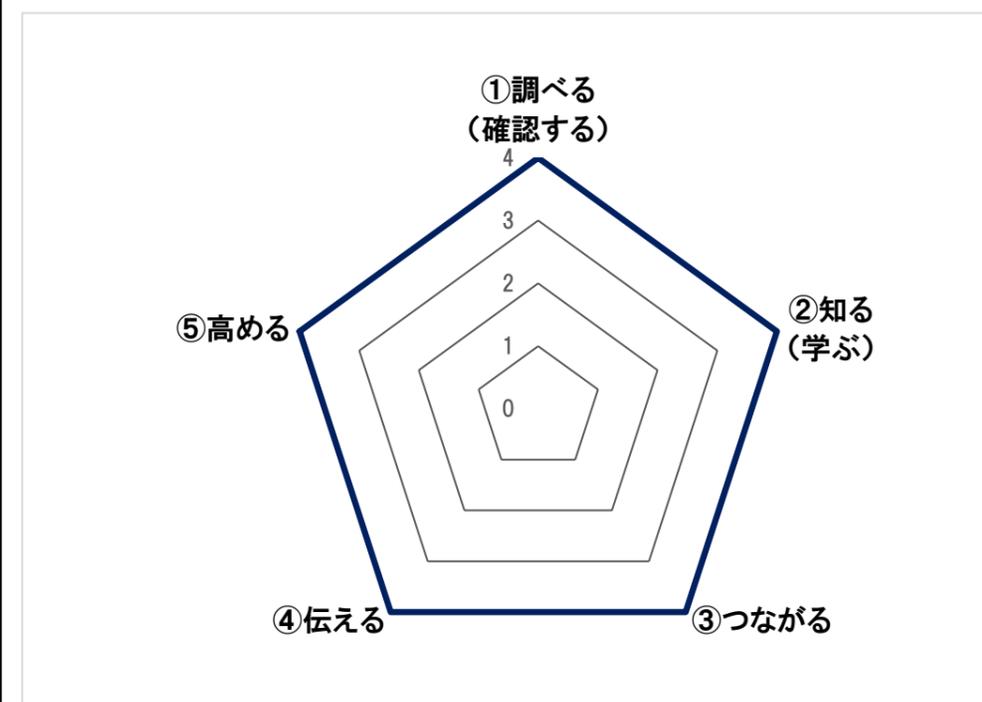
## 子育て及び高齢者福祉対策の推進

評価指標	内容	点数	2020年度に向けて
①調べる (確認する)	今年度は、特に子ども見守り活動として登下校時の声掛けや交通安全・防犯に対する啓発を中心に実施することができた。 また、青パト車との連携も図りながら大きな活動の成果となったと考える。	4	長年の事業として諸団体との連携で引き続き実施を推進する。 更に、地区連で令和2年度の事業計画に盛り込む。
②知る (学ぶ)	三地区育成会を通して、不審者情報や交通安全に関する情報を入手でき、更に防犯活動にも連動させることができた と考える。	4	引き続き実施を推進する。 更には、高齢者への取組について把握していく。
③つながる	三地区育成会(青葉小・富岸小・緑陽中)と連携を図りながら行った。 また、その他団体として「あおば元気な会」「おやじの会」「子ども見守り隊」などとの繋がりのある活動になったと考える。 老人クラブとの関わりは各町内会毎に行う中、安否確認や健康情報提供など行ってきた。	4	引き続き実施を推進する。 更に、高齢者への取組を行っていく。
④伝える	活動そのものが「きずな」の実践として定着している活動である。 活動をする上で中学校区の「三地区育成会」「学校運営協議会」等との連携で、情報共有しながら活動出来ている。	3	引き続き実施を推進する。 更には、高齢者への取組について把握していく。
⑤高める	見守りパトロールや交通安全街頭啓発には多くの元気な高齢者の協力で、防犯はもろろんのこと、児童や地域住民への見守りにも繋がっている。	4	引き続き実施を推進する。 更には、高齢者への取組について把握していく。



## 防犯・防災対策で安心安全な生活環境づくり

評価指標	内容	点数	2020年度に向けて
①調べる (確認する)	昨年度に引き続き、今年度も三地区育成会との合同津波避難訓練の実施ができ、学校側との共通認識が醸成できたことが大きな取組となった。更に、今回小学生は学校内で、中学生は自宅からの地域の方々と一緒に行動での訓練であった。 津波避難訓練の参加状況…町内会90名、中学生126名、小学生284名 更に一般の参加者を増やす努力が必要と考える。	4	引き続き実施を推進する。 全市一斉の津波避難訓練の実施を希望する。 避難ビル指定の役割とその運営について検証する必要性がある。
②知る (学ぶ)	地区連に独自の「自主防災連絡協議会」があり、会議の中で情報を共有できたと考える。特に、合同避難訓練の実施要領が綿密に図れたと考える。 胆振東部地震によるブラックアウト発生がもたらした停電から、市から非常用発電機の貸与があり、自主防災協として取扱いの研修と管理方法について学ぶことが出来た。	4	引き続き実施を推進する。 今後想定される外国人居住に伴う対応について(防犯上)
③つながる	主体的には、「自主防災連絡協議会」をもって、各町内会との連携を図ることとしており、十分に繋がることできたと考える。また、市連合町内会の「緊急災害時情報伝達網」による各町内会と繋がりが図れた。 今年度も三地区育成会との合同訓練が、中学生も一緒に行動する訓練として実施することが出来たことが、大きな成果と考える。	4	引き続き実施を推進する。
④伝える	「自主防災連絡協議会」において、各町内会長・防災協力員に第3期きずな計画を確認しながら、日常における地域意識を高揚できたものとする。	4	引き続き実施を推進する。 今年度も、「緊急災害時情報伝達網」の見直し
⑤高める	防災避難訓練の地区連として統一的な訓練を実践できたことが成果とできる。更に展開できるものとする。	4	引き続き実施を推進する。 令和2年度の地区連事業計画に織り込む。 (コロナ禍の状況を見極めて)



## 校区きずな推進委員会 委員

リーダー	田渕 純勝
サブリーダー	桑井 孝子
サブリーダー	近藤 トシ子
きずな推進委員	吉田 伸吾
きずな推進委員	亀山 聖

校区きずな推進委員	堀尾 政江
校区きずな推進委員	宇佐美 裕彰
校区きずな推進委員	津川 正博
校区きずな推進委員	中山 和恵

校区きずな推進委員	池上 英彦
校区きずな推進委員	遠藤 正一
校区きずな推進委員	垣内 博

## 1. 校区活動

日にち	名称	人数	内容
6月20日	第1回青葉小学校校区きずな推進委員会	12名	1)昨年度の活動報告 2)昨年度の校区きずな計画評価について 3)今年度の校区きずな計画の実施内容について など

## 2. 日頃からの見守り・訪問・声かけ(小地域ネットワーク活動)

来福町内会	さくら団地自治会
西川上町内会	新登津町内会
緑町団地町内会	青葉町青嶺高町内会
若緑町内会	あかしや町内会
若山団地町内会	市営住宅桜木自治会

実施率 90.9% ( 10 / 11 )

## 居場所・相談・つながりづくりの推進(ふれあい・いきいきサロン、ふれあい会食)

ふれあい・いきいきサロン

サロンさくら会	いきいきサロン桜木
カラオケクラブ「シロクマ会」	いきいきサロン結
わかやまサロン	若山団地サロン

ふれあい会食会

来福町内会	桜木団地町内会
西川上町内会	新登津町内会
若緑町内会	あかしや町内会
市営住宅桜木自治会	

実施率 63.6% ( 7 / 11 )